

Rotary



## WEEKLY NEWS 【13回】 2021-2022 年度

国際ロータリー第 2640 地区

## 和歌山東南ロータリークラブ 週報 通算 2404 回

会長:中曾真二郎 幹事:山田さち子 会報委員長:坂本武司

事務局 E-Mail: rotary@wakayama-serc.org http://wakayama-serc.org/

例会日 水曜日 例会場:ルミエル華月殿 第1, 第2, 18:30~(夜) 第3, 第4, 第5, 12:30~(昼)

本日の例会

12月1日(水)

18:30~華月殿

- ・開会点鐘 中曾会長 ・ローターソング 君が代、われ等和歌山東南ローター、ハーステ イソク
- ・出席報告(例会委員会) ・ニコニコ箱(寄付金)報告 ・委員会報告
- ・「クラブ年次総会」次年度役員・理事選挙、2020-21年度の収支を含む財務報告、2021-22年度収支を含む中間財務報告 ・「上半期活動報告①」各委員会
- ・閉会点鐘 中曾会長

先週例会報告 会場監督 松田敏明

ゲスト:日本赤十字社和歌山医療センター 院長 平岡真寛様

## 《 会長挨拶 》 中曾真二郎会長

皆様こんにちは。本日は、日本赤十字社和歌山医療センター院長の平岡真寛様  
ようこそお越しくださいました。後程、卓話よろしくお願いたします。

さて、冬空になり寒さが増してきましたので体調には十分にお気をください。  
先日、「例会場移転先アンケート」にご協力いただきありがとうございました。  
至らぬ点があったかと思いますがご容赦ください。理事会で検討後追ってご報告  
いたします。11/7に行われた地区立法案検討会に出席しましたので報告します。

- ・「前年度の財務報告」と「2024-2025年度のガバナーの選出方法が前年同様指名  
委員会方式」で承認されました。

- ・SRFについての報告がありました。

- ・青少年交換事業(現在中止)は2023-2024年度の8月から実施予定との報告がありました。

- ・ライラセミナーの日程が4/29-5/1に白崎青少年の家で行われるとの報告がありました。

続いて11/8に行われた会長幹事会の報告をいたします。

- ・「和歌山城ホール寄贈品」「JR和歌山駅西口花壇植替え」の会計報告や

- ・「市内9RCの親睦ゴルフ(5/8)」「I.M(4/6)」の日程報告がありました。

- ・地区から「ストリートピアノ」設置事業について、再度協力依頼がありました。

「ストリートピアノ」設置事業については設置場所や要らなくなったピアノの提供等の情報がござい  
ましたら教えてください。



## 本日の出席報告

会員総数	35名	出席者	出席率	寄付金	ニコニコ	米山記念 奨学会	ロータリ 一財団	東南 育英会	50周年 記念BOX	
出席免除会員	3名	11/24	25名	73.53%	累計	727,831	169,000	203,000	10,000	0

## 《 幹事報告 》 山田さち子 幹事

- ① 3件事務局に届いておりますので、各テーブルに一部置いてあります。  
ご一読頂き、御入用の方はお持ち帰り下さい。
  - ・和歌山市内9RC共同事業「和歌山城ホールへのホールクロック」寄贈への受領証明書(和歌山市)、決算書。
  - ・日本ライトハウス(目の見えない方・見えにくい方のための総合福祉施設)からのNews letter フォワード71
  - ・2021-2022年度 和歌山市内9RC共同奉仕事業「JR和歌山駅前花壇の花の植え替え」分担金30,000円を社会奉仕より支出いたしました。
- ② 第5回RLI(ロータリーリーダーシップ研究会)ディスカッションリーダー研修会のご案内  
日時:12月18日(土)8:30~15:20 オンライン(ZOOM)  
林会員ご出席、よろしくお願いいたします。



## 《 ニコニコ箱 》 赤在依美 会計

- 中曾君: 本日は日本赤十字社和歌山医療センター 院長 平岡眞寛様、ようこそお越しくださいました。  
どうぞ宜しくお願い致します。
- 保田君: 平岡先生 本日卓話ありがとうございます。出来る事なら東南R.C.への入会もよろしく。厚かましくてごめんなさい!
- 辻本君: 平岡先生、卓話よろしくお願ひいたします。
- 土屋君: 平岡先生 ご無沙汰しております。本日卓話よろしくお願ひ致します。
- 結婚記念日お祝い: 保田君、奥村君、山本君、平君。



## 《 米山記念奨学会 》

- 有本君: 今年も一ヶ月を残すのみになりました。コロナと寒さに気を付けて。

## 《 ロータリー財団 》

- 竹中君: 中曾会長 先日はありがとうございました。





# ♪ 11月 結婚記念日お祝い ♪



♪おめでとうございます。♪



## 卓話「日赤和歌山医療センターのがんセンターご紹介」 日本赤十字社和歌山医療センター 院長 平岡真寛様



日本人の死因の第一位を占めるがんの克服は国民的課題です。がんの生存率が全国的に見て下位に位置する和歌山県では、その対策が特に強く求められます。日本赤十字社和歌山医療センター（以下、当センター）では、当センターの有するがん診療機能を集結強化し、最新のがん医療を和歌山県民に継続して提供すべく、がんセンターを本年1月12日に開設しました。本館2階に外来がん診療の中核機能を集約し、臓器がん別の14のユニット、放射線治療科、腫瘍内科、緩和ケア内科の外来、がん看護外来、薬剤師外来、がん周術期ケアセンター・がん情報センターを新たに設けました。

本がんセンターには、3つの大きな特長があります。第一は、「臓器別がんユニット」による診療です。肺がん、乳がん、食道・胃がん、大腸がん、前立腺・尿路がん、婦人科がんなど14のユニットを設け、診療科を超えた専門医が英知を結集して、患者さんに合った最良の治療を提供します。第二は、総合病院のメリットを生かしたがん医療です。急増している高齢者のがん患者では、心疾患、糖尿病などの併存疾患を有する患者が少なくありません。当センターでは、循環器内科、糖尿病内分泌内科、腎臓内科などの専門医との連携が円滑に行われており、併存疾患を有するがん患者さんにも高度ながん医療が実施できます。また、在院日数の減少、薬物療法、放射線治療の外来シフトにより、救急対応が必要ながん患者さんが増加しています。当センターでは、コロナ禍であっても断らない救急医療を堅持しており、がん医療についても例外ではありません。第三は、検診から診断、治療、救急、緩和、患者支援に至るまで、すべてのがん医療を提供することです。

和歌山の地に根差した、いついかなる時にも対応する当センターの伝統を堅持し、皆様から愛され信頼されるがんセンターでありたいと願っています。



〔 2021-2022 年度 JR 和歌山駅西口花壇花の植え替え 〕  
和歌山市内 9RC 共同奉仕事業 2021 年 11 月 7 日(日) 10:00-11:00  
参加者：中曾会長、山田幹事、寺下社会奉仕副委員長

